



甲斐市立玉幡小学校 令和2年度 学校だより 第3号

チーム玉幡

令和2年5月14日

学校長 丸茂和也

再開に向けて、一歩ずつ

政府より、5月4日(月)全都道府県を対象に、緊急事態宣言を5月31日まで延長するとの発表がありました。山梨県内の感染の状況は、前より少し落ち着きが見えつつあるものの、まだ安心できない状況が続いています。それに伴い、市内小中学校一斉に、入学式が5/24(日)に、始業式が25日(月)に再延期となりました。3回目の仕切り直しということになります。先日校庭を歩いていたとき、偶然お目にかかった近所の方に「うちの孫は、とても入学を楽しみにして『1年生になったら』をよく歌ってランドセルも毎日しょっていたんだけど、最近はそれもやらなくなっちゃったよ」とのお話をうかがいました。新年度に向けての気持ちの立て直しの難しさや、在宅(ステイホーム)が続くことへの学習や生活等へのモチベーションの低下が気懸かりです。

そんな状況の中でも、GW中の報道による日本全国の様子を見ると、日本中の方が外出等を自粛して感染拡大を防ぐために努力をしているのだということを私は強く思いました。GW明けの状況を見ると、そのような努力が実り、収束の兆しが見え始めているのではないかと、そう感じる方も多いのではないのでしょうか。

3月3日から臨時休業が始まり、突然生活スタイルが変わる中で、毎日寂しい思いをしながら子供だけで留守番をする、またお子さんだけにするわけにはいかずに、無理をして仕事を休んでいたご家庭もきっとあったことかと思えます。学校では教職員が、子供たちに休業中に家でより良く過ごしてもらいたい、再開の日に備え精一杯良い形で子供たちを迎えたいと準備を続けてきました。

幸いにも12日(火)より分散登校がスタートして、全員ではないものの学校に子供たちが来てくれるという喜びで、職員室も活気と明るさが増していたと感じます。

「健康観察の記録」に基づく検温を始めとする日々の観察、学校からの課題やがんばるカードへのお目通し等ご協力いただきありがとうございます。

保護者の皆様と共に、社会全体がこの新たなウイルスと共に生きていかなければならないという認識を持ち、感染や拡大のリスク軽減を図りながら、再開に向かっていきたいと考えます。保護者の皆様には、毎日の健康観察を始め今までに無かった内容についてご理解ご協力頂くことがありますが、何とぞよろしくお願いいたします。



学校では12日（火）より分散登校が始まり、子供たちと共にある「学校」が少しずつ戻ってきています。分散登校中で気づいたことを共有しながら、やがて来る再開の日に備え、より一層準備を重ねていきたいと考えています。



ここでもみんなを待っています～畑の中の新しい命～

先生たちで畑をきれいにし耕し、生活科で育てる、キュウリ・かぼちゃ・ピーマン・なす・おくらの苗を植えました。また昨年度からお世話になっている坂本さんの力をお借りしながら、やはりたいもづくりのための準備も始めました。ヘチマの棚がすでに整い、その前のジャガイモもすくすく育っています。今年も児童のみなさんといっしょに小さな命を育てていく予定です。先生方が、学校が再開したら、児童のみなさんといっしょに大切に育てていきたいと想いを込めて準備を進めています。ぜひ楽しみにしてください。



体も心も負けない～感染症に立ち向かう～

今は多くの方が、手洗い・うがいの徹底、3密を避ける、バランスのとれた食事や十分な睡眠、適度な運動等で抵抗力を高める等、予防を心がけている毎日です。その中で、感染症の心への影響による悲しいニュースが報道等で取り上げられています。感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が異なる病気の拡散につながることにあります。特に感染者、濃厚接触者に対する偏見から差別が生まれることはあってはなりません。誰もが悲しく怖い思いをしている『コロナ』によって、さらに『コロナいじめ』のようなことは人として許されないことです。

新型コロナウイルス感染症は、感染経路が不明であるケースも多数見受けられていることから誰にも感染の可能性があります。本校の保護者の方や子供が万一罹患した場合であっても、偏見や差別につながるような行動があってはなりません。学校再開にあたって肝に銘じておきたいことです。